



議会だより

No.146 2024.7.17 発行

い
わ
て
の
こ
え

表紙 ガクアジサイ

- 補正予算ピックアップ…………… P2
- 付託外議案審議、議案リスト…………… P3
- 定例会質疑
- 各常任委員会審査報告…………… P4 ~P5
- 特集記事…………… P6 ~ P7
- 一般質問 (7名)…………… P8 ~ P14
- 傍聴者の声・アンケート…………… P15

裏表紙 バトンをつなぐ (飯田)

編集後記

令和6年第2回定例会

本定例会は6月7日から6月20日までの14日間開催されました。
専決処分を含む報告4件、議案9件、請願1件を慎重に審議しました。

令和6年度 一般会計補正 予算(第1号)

補正前の額	88億2,000万円
補正額	2億6,772万4千円
補正後の額	90億8,772万4千円

◆ 補正予算の主な内容

歳入	増額 国庫支出金			
	○物価高騰重点支援地方創生臨時交付金(国庫支出金)			9,796万3千円
	○公共土木施設災害復旧費補助金(国庫支出金)			901万円
	○耕地災害復旧事業補助金(県支出金)			1,954万円
歳出	増額			
	○定額減税補足給付金事業			6,235万7千円
	○非課税世帯等物価高騰重点支援給付金			3,560万6千円
	○農地災害復旧費			5,000万円
	○道路橋りょう補助災害復旧費			6,000万円
特別 会計		補正前の額	補正額	補正後の額
	○国民健康保険	14億3,545万6千円	104万7千円	14億3,650万3千円



令和6年度 一般会計補正 予算(第2号)

補正前の額	90億8,772万4千円
補正額	1,400万円
補正後の額	91億 172万4千円

歳入	増額 ○町有施設整備基金繰入金	1,400万円
歳出	増額 ○旧野上中学校解体アスベスト対応工事費	1,400万円

第2回九重町議会定例会 「令和6年6月7日～6月20日」

議案番号	件 名	付 託	結 果
報告第2号	専決処分の報告同承認を求めることについて		承認
報告第3号	令和5年度九重町一般会計繰越明許費繰越計算書について		
報告第4号	令和5年度水道特別会計繰越明許費繰越計算書について		
報告第5号	令和5年九重町一般会計事故繰越し繰越計算書について		
議案第41号	工事請負変更契約の締結について		可決
議案第42号	財産取得について		可決
議案第43号	九重町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	総務建設産業 常任委員会	可決
議案第44号	町税特別措置条例の一部改正について		可決
議案第45号	国民健康保険税条例の一部改正について		可決
議案第46号	九重町予防接種負担金徴収条例の一部改正について	教育民生観光常任委員会	可決
議案第47号	令和6年度九重町一般会計補正予算（第1号）		可決
議案第48号	令和6年度九重町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		可決
請願第1号	少人数学級推進・複式解消など定数改善と、義務教育費国庫負担制度2分の1復元および制度の拡充に係る意見書の提出に関する請願書	教育民生観光 常任委員会	可決
発議第4号	少人数学級推進・複式解消など定数改善と、義務教育費国庫負担制度2分の1復元および制度の拡充を求める意見書について		可決
追加議案			
議案第49号	令和6年度九重町一般会計補正予算（第2号）		可決

専決処分とは

本来は議会が議決すべき事柄を、時間的に議会の招集を待てない緊急な場合などに、行政運営の遅れや滞りを防ぐため、例外的に首長が議会の議決に代わり意思決定することです。専決処分をした場合、首長は次の議会で報告し、その承認を求めなければなりません。

今回は、地方税法等の一部を改正する法律等が公布されたことに伴う条例改正です。

補正予算

- ・令和5年度九重町一般会計補正予算（13号）
- ※町有施設整備基金積立金等

改正された条例

- ・町税条例等の一部を改正する条例

繰越明許とは

何らかの事由により、当該年度に支出が終わらない見込みのものについて、議会の議決を経て、翌年度に繰り越して使用できる制度です。

繰り越しとなった事業の一例

- ・釣住宅用宅地造成事業
- ・おおいた園芸産地づくり支援事業
- ・プレミアム商品券事業
- ・災害復旧費

岩尾茂樹議員

定例会
質疑応答

報告第5号

令和5年度九重町一般会計事故繰越し繰越計算書について

Q 農地災害復旧事業で事故繰越しとなった理由と件数は

A 昨年の災害により13件繰越しとなった。

Q 昨今の気象状況を勘案すると、昨年のような災害は毎年発生する可能性も想定される。今後に向けて繰越しとならないような新たな対応を考えるべきではないか。

A 検討する必要があると考える。

令和6年第2回九重町議会定例会において、総務建設産業常任委員会に付託された案件は、議案3件でした。

議案第43号「九重町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について」

通称マイナンバー法が改正され令和6年5月27日に施行されました。主な改正点は以下の4点

1 国外転出者のマイナンバーカード継続利用が可能

海外に赴任・留学する場合でもマイナンバーカードが失効せず、在外公館での申請や受取が可能

2 マイナンバーカードかざし利用が可能

暗証番号を入力せずに利用できる「かざし利用」が可能になり、健康保険証に限らず、図書館カードとしての利用や避難所入退場時の利用などが推進されます

3 税・社会保障等の分野の国家資格をマイナンバー利用事務に追加される

医師・保育士・税理士など約80の国家資格がマイナンバー利用事務に追加され、資格者の手続きがマイナポータルから可能となる事。

4 公金受取口座登録方法が拡充

マイナポータルからの口座登録により、通帳の写しの郵送を省略し給付を受けることが可能

上記改正を受けて、本町の行政手続きを定めた当条例についても、一部改正の必要が生じました。利用範囲が税・社会保障・災害対策に限定され、利用目的も特定されていること、更に個人情報保護法より厳しい本人の同意事項が法律で定められていることなどが確認できた為、適当であるとの結論に達しました。

議案第44号「町税特別措置条例の一部改正について」

令和6年4月19日に「地域再生法の一部を改正する法律」が公布・施行され、次のような改正が行われました。

地方拠点強化税制の対象拡大：企業の地方への移転等を促進するため、特定業務施設の整備と併せて子育て施設等を整備する事業も含むこととします。

この改正は、人口減少・少子高齢化が進行する中で地域の活力を維持し、再生を図るためのものであり本町の現状を顧みれば、将来的に企業誘致や雇用の拡大等に結び付く手段としての改正であり、これに合わせて当該条例を整備することは適当であるとの結論に達しました。

議案第45号「国民健康保険税条例の一部改正について」

国民健康保険税の算定については、所得割・均等割・世帯別平等割があります。（大分県においては資産割はない）これらの組み合わせ及び各項目の金額や割合は**各市町村が個別に定めること**となっています。今回の改正の根拠としては、3月第1回定例会で示された6年度の当初予算額では、国民健康保険税の**歳入が前年比1,627万円減の2億2,972万5,000円**に対し、**歳出の国民健康保険事業費納付金は3億2,457万4,000円**となっている現状があり、対策としては、大分県が示す標準税率を参考にして国民健康保険税の税率を改定し増額するという内容です。厳しい運営状況を鑑みて、やむを得ない改正であり適当であるとの結論に達しました。

「委員会に付託を受けた下記1議案は可決となり、請願1件については採択となりました。」

議案第46号「九重町予防接種負担金徴収条例の一部改正について」

新型コロナウイルス感染症がB類接種の定期接種に位置付けられるとともに、65歳以上の方及び60歳以上65歳未満で重症化のリスクの高い方が予防接種の対象となったことから、条例に必要事項を追加し所要の調整を行うものです。

請願受付番号第1号「少人数学級推進などの定数改善と、義務教育費国庫負担制度2分の1復元および制度の拡充に係る意見書の提出に関する請願書」

「少人数学級推進などの定数改善と、義務教育費国庫負担制度2分の1復元および制度の拡充に係る意見書の提出に関する請願書」について、学校現場は、対策を取りながら子どもたちがたくさん関わりあえる活動ができるよう日々奮闘しており、さらに、貧困・いじめ・不登校など解決すべき課題が山積し、子どもたちのゆたかな学びを実現するための時間を十分に確保することが困難となっている状況にあります。その状況下における教職員の長時間労働の問題等を踏まえ、請願の主旨は理解できるため、採択し、国の関係機関に意見書として提出します。

「意見書の要望事項」

1. 教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。とりわけ、中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。
3. さらなる少人数学級を推進するとともに、複式学級を解消すること。



教育民生観光常任委員会による巡視を実施しました。(4/17)

- ・旧野上中学校跡…現状確認等
- ・野矢小学校…複式学級の授業風景や親子山村留学についてのヒアリング
- ・小松地獄（園地）…被災状況等の確認
- ・筋湯温泉街…観光庁の「観光地・観光産業の再建・高付加価値化事業」に採択された事業実施の状況視察



〔今後の活動について〕

常任委員会では、今後の人口減少に伴い、児童生徒数のさらなる減少が予想されることから、学校の在り方について継続的に研究していくことを決定しました。

視 察 研 修 報 告

5/14~16

議会運営委員会視察研修報告

5月14～16日の3日間、宮崎県高原町議会・美郷町議会・高千穂町議会を訪問し、研修及び意見交換を行いました。

視察研修目的：①急激な人口減少に伴う議員定数の捉え方
②予算審査の在り方

視察地選定理由：研修をより確実・効果的なものとするため、人口数、面積、予算規模が九重町に類似した自治体を選定しました。

視察後の動き：各議会ともに対応は様々であり、大いに参考となりました。視察後に委員会総括会議を開催し、九重町議会に特別委員会を設置する方針を打ち出し、その後、全議員の同意を得て次の4点について調査・研究を深めていくこととしました。

- 今後の調査項目
- ①議員の定数・報酬の在り方について
 - ②予算審査の在り方について
 - ③選挙公営について
 - ④政策提案機能の拡充について



募集

おでかけ議会

議会議員と意見交換を行う
おでかけ議会開催希望の

**各種団体
グループ**

連絡先 お近くの議員

又は

議会事務局

電話：0973-76-3814

FAX：0973-76-3809

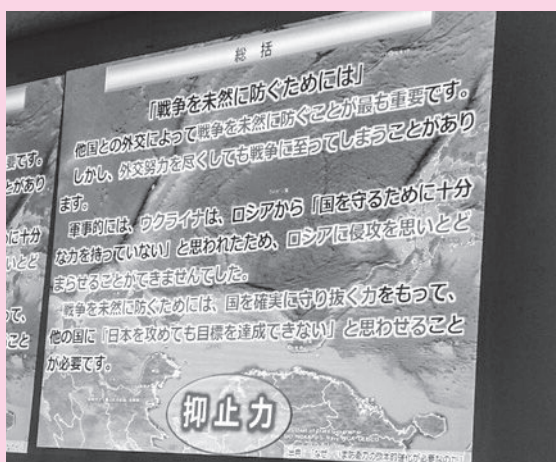
メール：gikai@town.kokonoe.lg.jp

5/21

防衛講話及び3市町合同意見交換会

湯布院駐屯地にて由布市・玖珠町・九重町の3市町合同で湯布院駐屯地司令（伊藤 久史 陸将補）の防衛講話と意見交換会が行われました。講話では、今わが国が位置するインド太平洋地域は安全保障上の課題が多い地域で、特にわが国周辺では、核・ミサイル戦力を含む軍備増強が急速に進展し、力による一方的な現状変更の圧力が高まっているとの事、そして台湾情勢が緊張感を増しており戦争を未然に防ぐには抑止力が重要であるとの講話でした。

その後3市町議員と湯布院駐屯地司令・幹部との意見交換会が行われました。



特

6/21

西部振興局・林業研究部 視察研修報告

大分県西部振興局には、業務ごとの5つの部局で九重・玖珠・日田の市町の活動について、様々な指導・協力を頂いています。今回は、議員全員で日田市有田の農林水産研究指導センター林業研究部の会議室での意見交換と、実際に「杉優良品種」や「コウヨウザン」^(注1)などの特性や「ツリーシェルター」^(注2)の現状を視察しました。振興局との意見交換では、主に地域創生部と生産流通部より、現在進行中の事業について説明があり、農業振興や観光資源の活用について、活発な質疑応答がなされました。また、農林水産研究指導センター林業研究部では、杉板の湾曲加工や強度測定等、初めて見る設備や実験施設を拝見することができ、今後ここから新たな樹種による再生林や花粉、成長速度等、これからの山づくりに必要な優良品種の開発に期待が膨らむ時間となりました。今後さらに、研修・意見交換を含めて議会の取り組みも進めてまいります。

(注1) 常緑針葉樹の一種

(注2) 獣害防止などのために造林木にかぶせるプラスチックの筒



集

町政を質す 一般質問

7名の議員が質問

介護支援の現状と課題は

…………… 必要な人は介護サービスを受けられている現状だが、
介護職の人材確保も課題のひとつにある。



野上
香代子

介護について

野上 町内の介護認定者の人数は。

日野健康福祉課長 第1号被保険者数3,775人に対して認定者数は694人、認定率が18.38%である。

野上 介護を必要としている人が本当に必要な介護を受けられているのか。

日野健康福祉課長 町内の事業所において、介護サービスの利用を断っている現状はないと聞いている。

野上 介護を必要とする人たちが増えた場合の方策は。

日野健康福祉課長 介護職の人材確保と介護予防事業、健康増進事業の普及啓発に努める。

野上 認知症介護に認知症介護基礎研修が義務化された。研修は出来ているか。

日野健康福祉課長 町内の介護保険施設及び介護保険事業所7施設での、研修状況についてはおおむね受講済みまたは受講中である。

高齢者支援について

野上 SOSネットワーク事業の現状は。

日野健康福祉課長 16名の登録である。

野上 近隣住民に情報開示しネットワークを広げられないか。

日野健康福祉課長 まずは担当課のほうで考えていきたい。

野上 緊急医療情報キット事業の現状は。

日野健康福祉課長 全世帯の約39.3%、1,516世帯で保管されている。

野上 はり、きゅう及び按摩施術料助成事業の助成内容と助成状況は。

日野健康福祉課長 町指定の11業者において65歳以上の方を対象に当該の施術につき1回1,000円を助成している。

ギガスクールについて

野上 ギガスクールの進捗状況は。

友松教育振興課長 1人1台の端末が本年度をもって全てChromebookになる。ネットワークの構築は一定の容量を持った情報のやり取りができるシステム構築をしてきた。

野上 通信環境は推奨域を満たしているか。

友松教育振興課長 同じ学校内でも場所により異なり、アクセスが集中するとつながりにくくなることもある。



矢野
春美



高齢化、人口減少からの 担い手減少の対策は

…………… 農業での所得で自立できるよう
国、県の事業も活用し支えていく

矢野 施政方針に、担い手、後継ぎの育成とあるが、現状をどう捉えているか。

藤野農林課長 高齢化、少子化により後継者不足。その背景には、農業への魅力がなくなっている現状がある。町としても深刻な問題と捉えている。

矢野 町としての具体的な対策は。

藤野農林課長 事業案内で補助金などの紹介。親元就農給付金、就農支援事業、ファーマーズスクール、中山間直接支払事業など。

矢野 助成金事業が担い手育成に実質的効果が見えない。農業の収入では安定した生活ができない現状。担い手の空洞化には別角度からの思い切った施策が必要なのでは。

藤野農林課長 農業の魅力の低下は、収益、収入が低いということもある。国、県の事業も活用しながら効果を見定めていく。



ビニールハウス(トマト)

有機農業への取り組み

矢野 有機農業の取り組みを始めたとのこと。今後の計画は。

藤野農林課長 本年度、有機農業実践農家の圃場見学など研修会を5回ほど予定している。

矢野 有機農業を推奨していく上で、生活の安定化ができているかなど、収入なども含めた経営実態の情報提供が必要では。

藤野農林課長 進めていく上で、どれくらい収益、収入があるかは農業者が一番興味のあるところ。町だけでなく県下、全国での事例を調査して提供していく。

矢野 九重町全体の農家の方々が、所得の確保ができて、やり甲斐を持って農業が続けられるよう将来に向けた“攻め”の支援を町長にお願いしたい。

日野町長 大きな課題があるが、逆にそれがチャンスと思えるような情報提供をしていく。可能な部分をしっかりと支援し、農業者が自立できるよう進めていきたい。

モンゴルとの交流

矢野 施政方針にもモンゴルとの交流が挙げられている。モンゴルの人口比率の高い若者世代との交流で絆を深めていくことで、将来、観光、農業への貢献も期待できると考えるが、子どもたちの交流計画はあるか。

小田まちづくり推進課長 今年度、具体的な計画はない。交流内容を検討しながら詰めていく。

矢野 モンゴル訪問団はNHK全国版でも取り上げられた。せっかく築いた信頼関係を互いの発展に繋げるため、交流を切らさず取り組んでもらいたい。

日野町長 覚書の達成を目指してやっていきたい。双方の情勢分析をしながら、どう交流していくかを考える1年としたい。

不法投棄への対応

矢野 四季彩ロードなどへの不法投棄の対応は。

吉光商工観光・自然環境課長 法律上は、土地所有者が対応することになっているが、相談があった場合は土地所有者と話し合い、知恵を出しあって解決していきたい。不法投棄を防ぐ対策も思案している。

木質バイオマスと地熱の ハイブリッド発電の実現可能性は

……… 町のポテンシャルを活かすことに繋がり、
将来のエネルギー問題の為にも努力する



岐部
俊哉

令和の時代を生きる! 第19弾「人づくり」は「町づくり」

森林資源の現状

岐部 町有林の現状と今後の計画は。

竹尾総務課長 施業計画に基づき伐採と再造林を行っている。8割近い町有林が40年～60年経っていて伐期を超えている。令和5年度の伐採の利益は337万円で一般財源とした。

岐部 町民の財産である町有林の施業計画はホームページ等で何故公開できないのか。

竹尾総務課長 生育の状況や木材価格の動向を見ながら見直しをしており、流動性が高い。そのため公表していない。

岐部 再造林に必須の下草刈りについては国と県とで補助率は68%!町の補助金の上積みで下草刈り補助で17%は少ないため補助率を上げることができないか。

藤野農林課長 今後県内の先行している市町の状況を調査していく。

バイオマスタウン構想について

岐部 どのような構想で何故実現できなかったのか。

吉光商工観光・自然環境課長 資源循環型の町づくりとして平成21年に公表した構想である。バイオガスの製造及び発電と木質ペレット製造について調査研究を行ったが、プラント建設費用や運用コストの面で断念したと理解している。



ハイブリッド化によるメリット

- ① 地熱発電の発電効率が20%向上
- ② 林業の活性化が期待できる。(木質チップの活用)
- ③ グリーン水素の生成も可能
- ④ 設備利用率の向上が期待できる。
 - A タービンへのスケール付着が発生しない
 - B 蒸気過熱器にスケールが付着する可能性あり。ただし、修繕費はタービンよりも安価
 - C タービン最終段階でエロージョンが発生しない
- ⑤ コンパクトで低予算のプラント

ハイブリッド発電について

岐部 2017年野矢滝上での実証実験の結果やNEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）が地熱のポテンシャルが高い地域を全国で4か所選定している。その中に九重町がある。クリーンエネルギーの生産が望まれている今だからこそ町長のトップセールスでバイオマスと地熱のハイブリッド発電が実現できないか。

日野町長 クリーンエネルギーの生産については、過去に事業者から進出の話があったが、最終的には実現しなかった。ハイブリッド発電事業のポテンシャルは九重町にあると考えており、今後実現に向けて努力していく。

町長選挙について

岐部 10月の町長選挙への意気込みは。

日野町長 2期目はコロナ対策と災害復旧・復興に全力を注がねばならぬ状況であった。この中で、思いやりをもって信頼関係をより深く築いていくことが町づくりの基礎となると考えてきた。共生の時代だからこそ行政と住民が共に手を取り合い、真の意味で自律できる町をつくりたいと思ってきた。そのために企業にも出向き種をまいてきた。次の4年間ではその種を芽吹かせ花を咲かせるために再度挑戦していきたいと考えている。

河野
克輝



町長の、今後の学校のあり方は教育委員会と同じ「問題ない」という考えか

…………「問題ない」とは思っていない
課題だと思っている

『校区別の児童数』

(単位:人)

計	61	68	65	67	44	59	45	43	40	32	38	23
0歳～6年生	6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
東 飯 田	15	23	17	14	12	20	16	18	9	10	10	8
野 上	24	15	18	18	16	16	16	6	9	8	9	5
野 矢	3	6	5	6	0	4	1	3	2	1	2	2
飯 田	11	6	9	12	4	7	5	7	16	2	6	6
淮 園	2	4	3	3	4	4	1	5	3	2	6	1
南 山 田	6	14	13	14	8	8	6	4	1	9	5	1

令和6年5月1日時点

小学校について

河野 「人数が多い学校、少ない学校に行かせてあげたい」という理由で校区外申請の許可はおりるか。

友松教育振興課長 現在の許可基準に、学校規模による指定校の変更という記載がないので、教育的配慮にあたるか教育委員会で検討していく。

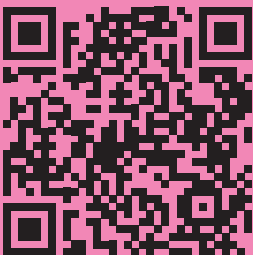
河野 校区外申請の許可されるべき保護者が、職員に相談したら「その理由では許可できない」と言われ申請を諦めた事例がある。

話をしっかり聞くことができれば回避できたのではないかな。

友松教育振興課長 相談をされた方には大変申し訳なかったと思っている。

今後は不安や心配をしている方が相談できる場所を作っていく。

九重町ホームページ



教育委員会

相談支援体制について
指定校変更・区域外就学について
就学補助について
児童生徒数について
学校に関する情報など

旧野上中学校体育館について

河野 〔リニューアル活用〕行政側の案を区長会だけに説明し、まちづくり協議会に説明しなかった理由は。

小田まちづくり推進課長 まちづくり協議会と協議した際に、その後の窓口を区長会とすることとなったため、そちらに説明をしてきた。また、3月には報告ではあるが、まちづくり協議会にも説明は行っている。

河野 町長は、対話が大事、対話の行政ということをずっと言われてきた。しかし、まちづくり協議会の方々に理解されていない状況も生まれている。その点について、何か思いはあるか。

日野町長 対話が大事、との指示は、十分してきたつもりである。

河野 まちづくり協議会の役員さんの中には、世代交代を望まれている方もいる。新しい体制になったときに、行政とのつながりがうまくできるのか心配である。今後のアドバイスはあるか。

小田まちづくり推進課長 役場としては、意見をしっかり把握したうえで、皆さんとお話しさせていただき、合意形成を図っていきたいと考える。

町長の政治姿勢は待ちの姿勢になっているのではないか
(積極的に地域に出て、住民の意見等聞くべきではないか)

…………… 待っているという状態、状況とは思っていない、
色々なところに行動、働きかけをしている



岩尾
茂樹

岩尾 町長、職員は積極的に地域に出て実情等を見聞きし、町が先頭に立って必要な施策を実施すべきではないか。

日野町長 あらゆる機会を通じて、住民と対話をし、施策に活かしている。

岩尾 誰の意見、要望等に対しても全てそういう対応がなされているか。

小田まちづくり推進課長 対応していると考えている。

議会、議員について

岩尾 議会、議員の存在意義や発言をどう認識しているか。二元代表制の片方として、町が関わるいろんなことを早く知りたいし意見も述べたいと思うが、もう少し事前に説明できないか。

日野町長 相手の立場があり、言えない時もあるが必要な時には報告する。



地域の意見、要望等について

岩尾 誰のどのような形でのものを想定しているのか。「地域がまとまって」とか「地域が盛り上がらない」とか「行政主導ではうまくいかない」とかよく発言されるが、区長や各種団体の代表でないとダメなのか。

小田まちづくり推進課長 何らかの組織、団体に属したものでなければというのではなく、個人の意見でも建設的なまちづくりにつながるものであれば受け付ける。いただいた意見、要望等については、担当課や関係課と協議したり町長等の判断で対応する。

農業政策について

岩尾 人口減少対策や耕作放棄地対策として小規模農業(家庭菜園、自給自足、兼業農家、半農半X等)の支援を検討すべきではないか。

藤野農林課長 経営所得安定対策、中山間地域直接支払交付金や多面的機能支払交付金等の制度で農地、農業を守っている。農業という業であるので、生産したものを販売し、収益を得ることを目的として取り組んでいただきたい。

岩尾 農業としてでなく人口減少対策や耕作放棄地対策、地域の荒廃防止対策として支援できないか。

日野町長 支援することが必ず人口減少対策になるか等含めて研究していかなければならない。多角的な視点から、様々な研究をしていかなければならないと考える。



鳥獣害対策が必要な家庭菜園

佐藤
明郎



コミバスを利用したくてもできない方々への対応はどうなった

………… コミバス支線を自宅までのデマンド型へ

コミバスの運行見直しはどうなった

佐藤 再三検討を求めてきたコミバスの対応。定期路線、定時運行のコミバスでは、利用したくても、体調や年齢的に交通弱者といわれる方々は利用できない。この方々への対応が見えない。過去の一般質問で「検討している」と回答を受けたが。

小田まちづくり推進課長 その後に協議を重ね、町内7路線あるコミバス支線をデマンド型に移行することとした。予約は必要となるが、自宅まで迎えに行けるようになる。ただし、目的地はあらかじめ指定した場所に限られる。

佐藤 詳しい住民説明会が必要となるが、その説明会にも交通弱者は参加がしにくいのが現実。どのような対応を考えているか。

小田まちづくり推進課長 我々も同じ認識である。様々な手段をもって、対象となる方々全員に知っていただけよう努める。

用語解説

デマンドバスとは？

デマンドバスとは、利用者の個別の要望（デマンド）に応じて、それらを取りまとめた上で、利用者の自宅まで伺い、乗り合わせしながらあらかじめ指定された目的地まで運行する輸送サービスです。

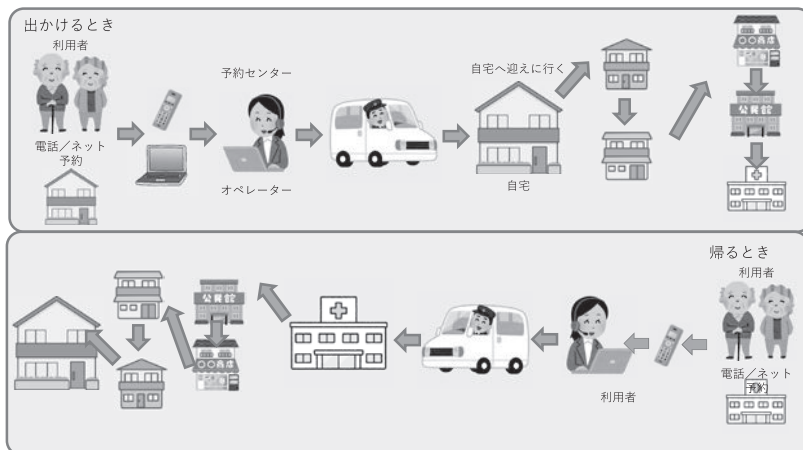
避難所の環境改善を

佐藤 現状の避難所の状況を見ると、大規模災害が起こらない限り、体育館にこだわる必要はないように思える。より環境の良い、各地区交流センターを指定避難所とすることはできないか。

梅木危機管理・防災安全課長 以前より検討すると回答していたが、その後協議を行い、今年度から交流センターで、受付、避難していただくよう変更したところである。ただし、災害の状況により、体育館での対応となる可能性もある。

佐藤 高齢者にとって、床に座ったり、横になることは、非常にづらい。寄り添った支援を行うため、再三段ボールベッドの配置を求めてきたが、未だにできていない。

梅木危機管理・防災安全課長 早急な配置に努める。



デマンドバスの利用イメージ図

吊橋周辺の活性化に 大きく踏み込む時期では

…………… 今年度中に整備計画を提示する



増田
裕子

吊橋の活性化、町民福祉も含めた新たな構想を

増田 15年来変わっていない入場料を見直して、町民、特に子どもたちが自由に橋を渡りふるさとの景色を記憶に刻めるような、吊橋の利益を享受できる活性化を望むが、以前から提案してきた吊橋周辺の活性化（バンジージャンプやアスレチックパーク化など）をどう検討してきたか。

日野町長 いただいた色々な提案を含めて、令和6年度中に、大吊橋周辺（北方エリアを含む）全体の整備計画を提示できるよう取り組む予定だ。新たな脱皮の時期にきていると感じている。



増田 今年から子育て支援課に設置されたこども家庭センターの位置づけと機能は。

穴井子育て支援課長 すべての妊産婦、子育て世代、子どもに対して、母子保健と児童福祉の両方を一体的に相談支援を行う。3名体制で、保健師、保育士、学校教諭の専門職を配置している。

増田 わかりやすい、利用しやすい子育て支援であるための方策は。

穴井子育て支援課長 子育て家庭が地域の中で安心して生活できるためには、不安を抱える家庭に対して身近に相談に応じられる支援体制が重要と考える。こども園や学校、放課後児童クラブなど様々な場に子ども家庭センターの職員が直接出向いて、相談支援活動を進めていきたい。

用語解説

DX（デジタルトランスフォーメーション）
デジタル技術を活用して様々な変革をし、課題解決と新しい価値を創造する意味の造語

森林環境譲与税の有効な活用を幅広く

増田 今年、森林環境譲与税を使って赤ちゃん誕生時に木の器セットをプレゼントする新聞記事が大きく載った。町内の木工をされる方の手作り品で、素敵な企画だと感心している。この森林環境譲与税の交付額の推移と使途の内容は。

藤野農林課長 使途としては、「市町村及び都道府県が実施する森林の整備及びその他の促進に関する施策の財源」という形で譲与される。私有の未整備森林の整備、森林の整備を担う人材育成、施策の財源、森林の有する広域的機能に関する普及啓発、木材の利用促進などがあげられる。

森林環境譲与税 交付額の推移

	譲与額	単年度執行率
R元年度	17,631,000円	9.89%
R2年度	37,468,000円	68.08%
R3年度	36,160,000円	19.96%
R4年度	46,548,000円	117.30%
R5年度	46,548,000円	145.34%
R6年度	65,418,000円	110.42%見込

増田 昨年度から設置された「情報デジタル推進課」の業務内容とHPなど広報の改革は。

松尾情報デジタル推進課長 広報・地域情報グループとデジタル戦略グループがあり、職員5名とケーブルテレビの窓口業務1名の体制。

・広報・地域情報グループ：

広報の取材発行、各種統計調査、HPやSNS等の運用管理、ケーブルテレビの運営など。

・デジタル戦略グループ：

各種システム等の運用管理、機器更新、ネットワークや情報セキュリティの管理、自治体DX推進業務など。

今年度、住民課と税務課でキャッシュレス化をすすめ、HPやライン公式アカウントも大きく改修する予定である。

傍聴者の声

九重町地域おこし協力隊

鈴木 仁美さん

この度は議会傍聴させていただき、ありがとうございました。

議会では、様々な分野での一般質問、答弁について拝聴し、九重町の現状や課題について改めて認識することができました。

議会上での様々な意見や方向性の違い等ございますが、その先にある皆様の思いは、「未来ある住みやすい魅力的な九重町をめざす」という部分では、ひとつではないかと考えます。

議会傍聴は、一町民として、今の九重町の課題を知るひとつのきっかけとなり、また町執行部の方、議員さん、そして町民のみなさんで、九重町をより魅力ある町にして

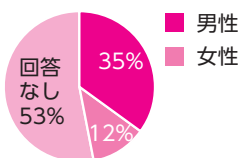


九重町に移住するきっかけとなった、大好きな飯田高原の景色

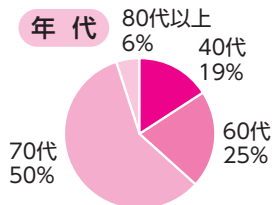
いくために必要な大切なことと感じました。
 次回の傍聴席では、ひとりでも多くの方にお会いできることを楽しみにしております。

傍聴者アンケート

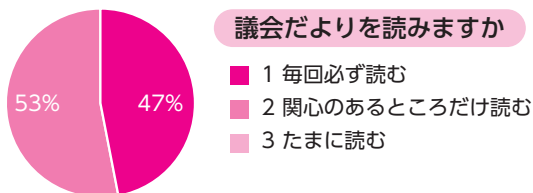
性別



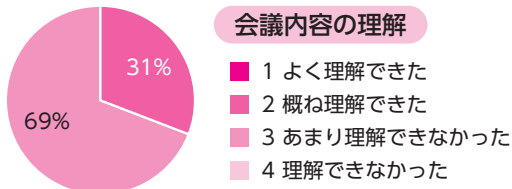
年代



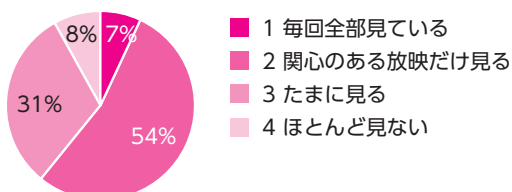
議会だよりを読みますか



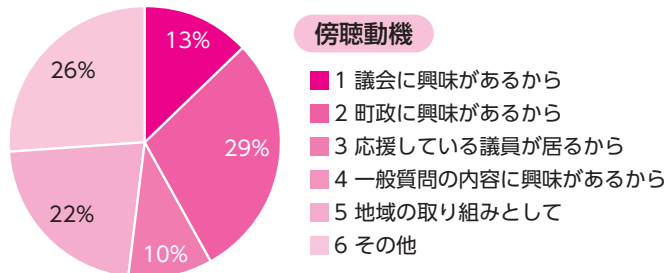
会議内容の理解



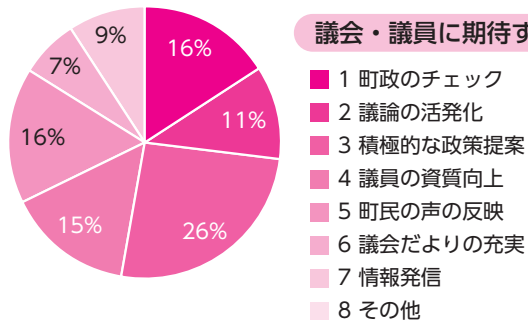
ケーブルテレビで一般質問は見ますか



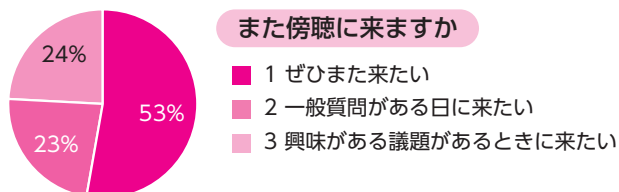
傍聴動機



議会・議員に期待すること



また傍聴に来ますか



アンケートにご協力いただきありがとうございました。いただいたご意見は、議員全員で共有いたします。



第22回

飯田猟友会



	イノシシ	シカ
令和5年度 九重町全体	858頭	2658頭
令和5年度 飯田猟友会	245頭	609頭



飯田猟友会は総勢21名、平均年齢73歳。3月議会で採択された「有害鳥獣駆除活動強化促進に関する陳情」の通り、飯田中村上で住民が自宅近くで猪に襲われ大けがをする事象が発生しました。

農作物被害だけではなく、民家の近くまで出没し日々の生活に不安を抱いている方が多く、問い合わせも年々増えております。

できるかぎり駆除し、地域の方が安心できるようにと思っておりますが、会員の高齢化と新規会員の不足から余裕がないのが現状です。

若者募集中!!!

若い方に入って頂くためにも、町のサポートや肉の活用など新たな取組を展開していく必要があると思います。

私達もあと何年できるか分かりませんが、元気なうちに次世代へのバトンを繋いでいけることができるように頑張ります。



飯田猟友会会長
弘藏 岳久さん



猟に興味のある方は、
お問い合わせください。

「玖珠郡猟友会事務局」

松尾 健さん ☎0973(76)3215

議会だよりについて
ご意見をお聞かせください。
【議会事務局：76-3814】

令和6年7月17日

発行／九重町議会 編集／議会広報特別委員会

〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1

☎ 0973-76-3814 ・ FAX 0973-76-3809

メール(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp

編集後記

令和6年も早いもので半年が過ぎました。

田植えも終わり農家の皆さんも一息入れているのではないかと思います。しかし、この時期の心配事の一つとして、近年の雨による甚大化する災害の脅威があります。田畑が気になるとが増えると思いますが、長雨や大雨の時はいつも以上に気を引き締め、危険と思ったら近寄らないようにしましょう。

広報委員になり一年がすぎましたが、読みやすく伝えることの難しさを実感しています。引き続き努力していきます。

河野 克輝

広報委員長 野上香代子
副委員長 土井眞一郎
委員 岩尾 茂樹
委員 岐部 俊哉
委員 矢野 春美
委員 河野 克輝